

ハツ場ダム位置図



ハツ場ダム



国土交通省関東地方整備局
ハツ場ダム工事事務所

〒377-1395 群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋11
TEL: 0279 (82) 2317 FAX: 0279 (82) 3529
<http://www.ktr.mlit.go.jp/yanba/> 2019.6

吾妻川の流れを、明日のくらしに活かします

ハッ場ダム建設事業の経緯

- 昭和22年 カスリーン台風により利根川の堤防が決壊
- 昭和27年 ハッ場ダムの調査に着手
- 昭和44年 ダム説明会が開かれ生活再建相談所も開設
移転地探しは難航
- 昭和55年 群馬県が長野原町に「生活再建案」を
吾妻町に「振興対策案」を提示
- 平成 4年 長野原町とハッ場ダム建設事業に係る
基本協定締結
- 平成 7年 吾妻町とハッ場ダム建設事業に係る
基本協定締結
- 平成27年 ダム本体左岸で発破による掘削工事開始
- 平成28年 ダム本体のコンクリート打設開始
- 平成29年 ハッ場ダム定礎式を実施
- 令和元年 ダム本体のコンクリート打設完了

ハッ場ダム建設事業の進捗状況

	全体	進捗率
用地取得	456 ha	97%
家屋移転	470世帯	100%
付替鉄道	10.4 km	100%
付替国道	10.8 km	100%
付替県道	12 km	100%

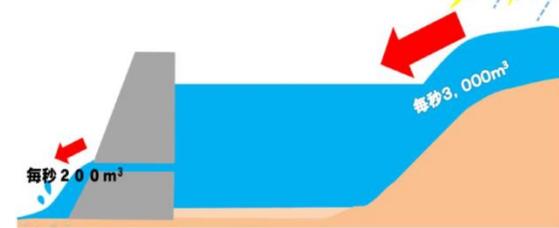
(平成31年3月末時点)

●代替地整備について
水没等関係住民の方々の移転先である移転代替地の整備は、ダム湖畔沿いあるいは幹線道路沿いの高台に既存地区毎に移転することで、各地区内の文化、伝統、コミュニティを可能な限り保全することを目指した「現地再建方式」により進めてきており、平成19年度より分譲手続を開始、平成31年3月末までに96世帯の方々が移転され、新たな暮らしを始めています。



ハッ場ダム建設の目的

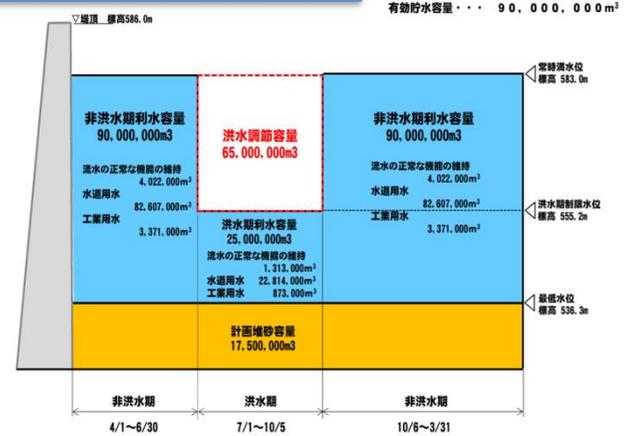
- 洪水調節**
ハッ場ダムは、ダム地点ピーク流量時において毎秒3,000m³の洪水をダム下流には毎秒200m³の放流になるよう調節します。
- 新規都市用水の供給**
群馬県および下流都県の新規都市用水として、最大22.209m³/sの供給を可能とします。
②-1 水道用水 (最大21.389m³/s)
群馬県、藤岡市、埼玉県、東京都、千葉県、北千葉広域水道企業団、印旛郡市広域市町村圏事務組合、茨城県
②-2 工業用水 (最大0.82m³/s)
群馬県、千葉県
- 流水の正常な機能の維持**
ダム下流に位置する名勝吾妻峡の景観等を保全するための流量 (2.4m³/s) を確保し、吾妻川の流況の改善を図ります。
- 発電**
群馬県によりダム下流に新設されるハッ場発電所において、最大出力11,700kWの発電を行います。



ハッ場ダム工事現場概要



貯水池容量配分図



ダム及び貯水池諸元

- 【ダム型式】 重力式コンクリートダム
- 【堤 高】 116.0m (利根川水系ダムで8位)
- 【堤 頂 長】 290.8m
- 【堤 体 積】 約100万m³
- 【流域面積】 711.4km² (利根川水系ダムで1位)
- 【総貯水量】 1億750万m³ (利根川水系ダムで3位)
- 【湛水面積】 約3km²

※利根川水系ダム
ハッ場ダム、矢木沢ダム、奈良保ダム、藤原ダム、相俣ダム、蘭原ダム、下久保ダム、草木ダム、渡良瀬貯水池、五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、湯西川ダム

洪水期/梅雨時期、台風やその他豪雨等により、大きな洪水の発生が予想される期間。主に夏から秋。非洪水期/洪水期以外の期間。